

新潟・難聴中学生のための英語勉強会のご案内

— NEWHS: Niigata English Work for Hard-of-hearing Students —

難聴の生徒にとって、英語の学習が難しい、とよく言われます。最近の英語の学習では、「耳から聞いて口から出す」という学習が重視されます。そうすると、きこえに問題をかかえる難聴の中学生にはお手上げです。

ところが、難聴の人でも「英語は得意です」という人もいます。こういう人の多くは「文字」や「文章」の英語に強いのです。英語の学習は「読む・聞く・書く・話す」の4つです。「聞く」のが苦手でも、他の分野を強化すれば英語の勉強はできるようになります。また聞こえる人でも「英語は苦手」という人も多いことを考えれば、勉強のやり方はあるはずです。



NEWHS は「辞書とフォニクスがひらく難聴中学生の英語学習」をモットーに、3週に1回、新潟市で新潟県内の難聴中学生を対象に開いている英語学習会です。その回数は2年間で30回に及び、上中下越の各地から中学生が参加しています。集まる生徒の聴力レベル軽度・中等度から高度まで、人工内耳のお子さんも含めて様々ですが、一生懸命に辞書をひいて英語の学習に取り組んでいます。

また、とかく「学校で補聴器や人工内耳をしているのは自分だけ」と、孤立して問題を抱えがちな難聴中学生が「集まって活動する場」として、交流のための集団形成の場にもなっています。

平成28年度も、これまでの実績を基盤にして活動を進めます。小学校を卒業して中学校に進学するお子さん、あるいは現在中学校に通っているお子さんの幅広い参加をお待ちしています。下記のように来年度の説明会を実施します。難聴のお子さんの中学校での学習や生活のことを心配なさっている保護者の方は、是非ともご参加ください。

<連絡先> 〒951-8024 新潟市早川町2丁目3215 NEWHS 代表 白井一夫

e-mail: nanchobook@hotmail.co.jp

2017 第1回 NEWHS 学習会

1. **4月22日(土) 9:30-16:00**
2. **会場: 新潟市総合福祉会館**です。駐車場が使えないと思いますので、公的交通機関でおいでください。

*メールで、**4/21までに「参加、保護者同伴の有無、交通手段と予定」の連絡**をお願いします。当日になると、PCではチェックできないので**携帯**をお願いします。(携帯アドレス: 461kazu@ezweb@ne.jp)

3. **時程 (会場は9:30にはあけます)**

10:00-12:00 1年生クラス・・・「単語を理解して覚える学習」

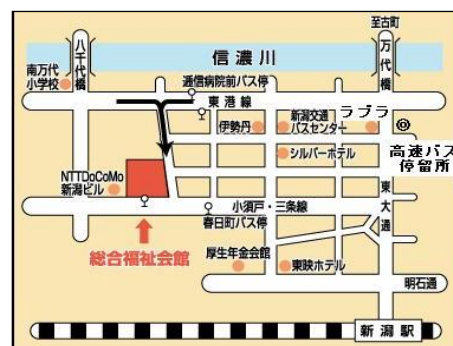
13:15-15:15 2・3年生クラス・・・構文トレーニング

* 自習の時間としても使えるようにするので、早めに来て学校の予習・復習をしましょう。

4. **もってくるもの**

① 辞書 ② 学校の教科書・ワーク・ノート ③ 参加費 500円

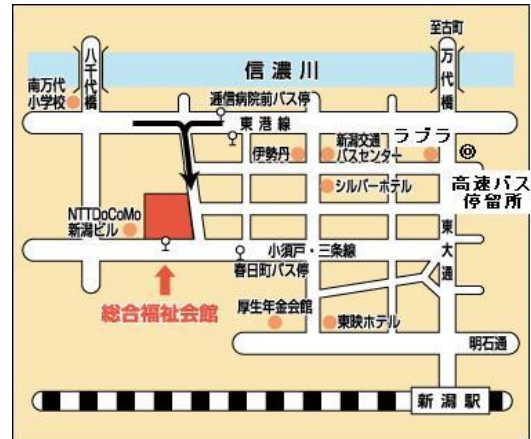
次回以降の予定 5月20日(土) 6月10日(土)



2017 年度の NEWHS の活動について

1 日程と会場

- 1) 今年と同様、3 週に 1 回のペースで土曜日に実施します。
- 2) 行事や会場の関係で、変則日程になることがたまにあります。
- 3) 会場はこれまで同様に、新潟市総合福祉会館で行います。4 階または 5 階の会議室でやりますが、どの会議室になるかは、会場内の表示で確認ください。



2 時程とクラスの内容

16 年度は、「1 年生クラス」と「2 年生クラス」に分かれて、下記のように学習を進めます。

	1 年生クラス	2 年生クラス
9:30	開場（中に入れます）	
9:30-10:30	自習の時間 学校の教科書を使って、予習や復習をしましょう。質問を受け付けアドバイスもします。	自習の時間 学校の教科書を使って、予習や復習をしましょう。質問を受け付けアドバイスもします。1 年生クラスの学習のお手伝いもしてくれればありがたいですが。
10:30-12:00	学習会 辞書を使って単語を習得することを中心とした基礎の学習	
12:00-13:00	昼食・休憩	
13:00-15:00	見学可 可能ならば、2・3 年生の学習の様子を見学しましょう。あとで、必ず役に立ちます。	学習会 読み物資料や問題練習を中心とした構文トレーニング

3 運営について

- 1) 運営のために参加者から参加費として、1 回につき 500 円を徴収します。
- 2) 500 円に含まれるのは以下のようなものです。
 - (ア) **飲み物代**（参加者〔生徒のみ〕には、飲み物〔ペットボトル〕を 1 本ずつ用意します。）
 - (イ) おたよりの**送料**（毎回の学習会の様子をお知らせします。欠席者にも送ります）
 - (ウ) 学習に必要な**資料やプリントのための費用**（用紙代・プリンターインク代など）
- 3) 参加は保護者同伴でも、生徒だけでもどちらでもかまいません。ただし、会場までは、保護者と本人の責任で来て下さい。
- 4) 参加・不参加や保護者同伴かどうかを、各回の前日までにメールで報告ください。
- 5) 今年度は特にテキストは使いません。学校で使う教科書と辞書を忘れずに持参下さい。

年度途中からの参加も可能です。どうぞおいでください。

2016 年度 NEWHS の活動内容（おたよりの見出しから）

- | | | | |
|-----|---------|----------------------------|------------|
| 1) | No. 135 | 今年も辞書を引こう | 04/10/2016 |
| 2) | No. 136 | 今年も始めました | 05/01/2016 |
| 3) | No. 137 | さて本腰を入れて勉強しましょう | 06/19/2016 |
| 4) | No. 138 | 飛べないペンギンはどんな鳥？ | 07/17/2016 |
| 5) | No. 139 | 残暑お見舞い申しあげます | 08/16/2016 |
| 6) | No. 140 | ようこそ先輩・文の勉強始めます | 09/05/2016 |
| 7) | No. 141 | ようこそ NEWSH へ・Yankee Doodle | 09/26/2106 |
| 8) | No. 142 | 早く出てこーい 不定詞・1 年生は母音を | 10/17/2016 |
| 9) | No. 143 | 今回はテスト対策でした・英語の勉強法 | 11/13/2016 |
| 10) | No. 144 | 1 年生、いよいよフォニクスに入りますよ。 | 12/02/2016 |
| 11) | No. 145 | 年に一度のクリスマス会・今回は易しすぎた？ | 12/30/2016 |
| 12) | No. 146 | フォニクスまとめて | 01/30/2017 |
| 13) | No. 147 | 猫には猫の、カモメにはカモメのやることがある | 02/28/2017 |

<コメント>

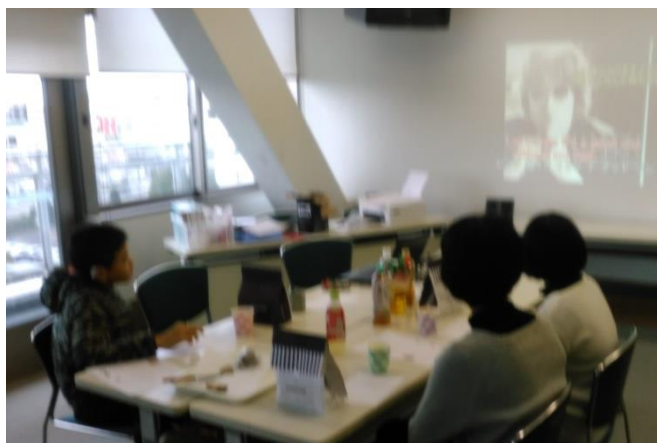
- 1) 16 年度は 1 年生 1 名， 2 年生 3 名， 3 年 1 名， 計 6 名で学習しました。
- 2) 午前中の 1 年生クラスは，次のような活動をしました。
 - ① 自分で持ってきた教科書の単語調べなど，学校の学習を自分でやり疑問点は質問する。
 - ② 1 年生については，英単語を覚えるための辞書の引き方，発音の仕方，発音とつづりの関係（フォニクス）などです。テストに向けての基本事項の個別指導もやりました。

* 遠くから来る方はご無理なさらずにご連絡くだされば、開始と終了時間配慮します。

- 3) 午後の 2， 3 年クラスは全員で共通の課題をやります。学年差がありますが， 2， 3 年で共通して重要なことをみんなでやります。
- 4) 毎回の様子はニュースにしてお手元に届けます。
- 5) 公立高校受験の際のリスニングの特別な配慮(別室受験)申請のお手伝いをしました。
- 5) 参加費として毎回一人 500 円を徴収し，事務費，飲み物やニュースの送料に充てました。

* 毎回のニュースは、下記 HP で公開しています。よろしければご覧ください。

難聴の思春期を考えるページ <http://www17.ocn.ne.jp/~nanchohb/>



NEWSHS の勉強

1. 一番最初にやるのは・・・英単語の読み方

1) 英単語の読みの単位は日本語とは違う・・・syllable (シラブル) と言う

例) basketball の場合

日本語・・・バ・ス・ケ・ッ・ト・ボ・ー・ル

英語・・・¹bas・²ket・³ball (バス・ケトゥ・ボール) →実は「バクケッポ」と聞こえる

このリズムの違いをしっかりとつかんで、聞いたり発音したりするのが大切。

2) stress (ストレス；強勢) に注意・・・2 シラブル以上の単語には強く読むところがある

base・ball dic・tio・na・ry など。 → ‘ のついたところは強く読む

3) スペル (spell) と読みの関係をつかむ・・・phonics (フォニクス)

子音 (s,k,t,m,g,b など)・・・基本的にはローマ字と同じ読み

母音 (a,i,u,e,o など)・・・ローマ字の読み方とは違うことが多い

たとえば ball は「バル×」ではなく「ボール○」だし、me は「メ×」ではなく「ミィ○」

2. 次にやるのが「辞書を使って単語を調べて覚える」という勉強。

1) 読み・意味・スペル・品詞 (動詞とか名詞とか) を全部覚えないと「単語がわかった」ことにならない
辞書を使えば全部調べることができる。

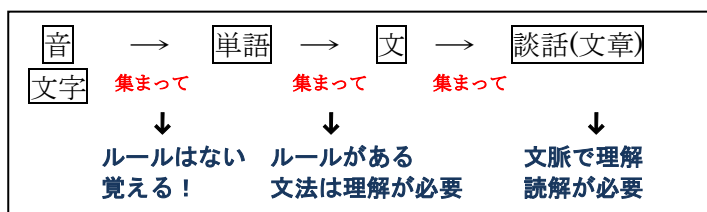
2) Phrase (フレーズ；句) としてつかむことが必要なこともある

例 get up で「起きる」(get だけだと「手に入れる」という意味)

3. 単語から文へ

1) 単語から文へ

・音 (文字) が集まって単語になり、単語が集まって文を作り、文が集まって談話 (文章) を作る (右図)



・音が集まって単語を作る時にはルールはないから、**単語はひたすら覚える**しかない。

・単語が集まって文を作る時には、語順や活用などの**ルール(文法)があり、理解が必要**

・文が集まって談話 (文章；教科書やテストの文など) を作るこれは、国語の文章を読解するのと同じで、「ここ」はどこ？、とか「それ」って何、など考えて読まなくてはならない。

2) 英語の構文

・主語と動詞が骨組み・・・**動詞がわからないと、どうしようもない**

・主語・・・名詞句であることも多い → The beautiful girl とか A little child とか

・動詞 活用がある

他の語がくっついて動詞句になることもある → look at, go to, とか
助動詞 (can, must など) と一緒に使うことも多い

・単語と単語のつながり、関係 (難しく言うと「修飾—被修飾の関係) をつかまないと文意がわからない。

・練習・・・単語の並べ替え、適語補充 ([] に当てはまる語を入れよ) 英作文、英文を日本語に直す、など、テストに出るのはこういうのも多い。